

車を運転中に大地震が発生したら！

9月1日は、「防災の日」です。今から100年前の大正12年9月1日に発生した関東大震災にちなみ、この日が「防災の日」とされました。宮城県でも、昭和53年の宮城県沖地震や平成23年の「東日本大震災」など過去に大きな地震がありました。特に、東日本大震災の発生当時、車を運転なさっていた方も多いのではないのでしょうか。

自動車の運転中に大地震が発生した場合の対処方法

高速道路を走行中の場合

- ・ 決して急ブレーキをかけないこと
- ・ ハザードランプ等で合図をしながらゆっくりと減速し、あわてずに左側路肩に停車してエンジンを止める
- ・ 渋滞などで左側に寄せられない場合は、右側に駐車して、道路中央部分を空ける
- ・ 停止後は、ラジオ等で地震の情報、交通情報を収集する
- ・ 可能であれば、追突事故防止のため三角停止板を設置する
- ・ 現場の警察官や高速パトロールの指示に従う

一般道路を走行中の場合

- ・ ハザードランプ等で停止の意思表示をする
- ・ 急ハンドル急ブレーキを避けて出来るだけ安全な方法で道路の左側に停止させて、エンジンを切る
- ・ 避難する人や緊急車両が通行できるように道路の中央部分を空ける
- ・ 近くに駐車場や空き地がある場合はそこに駐車する
- ・ パーキングブレーキをかけて、余震に備える
- ・ 停止後は、ラジオ等で地震の情報、交通情報を収集する
- ・ 揺れがおさまってもしばらく様子を見る
- ・ 現場に警察官がいる場合は警察官の指示に従う

車を置いて避難するときは

- ・ 車をできるだけ道路外に移動させる
- ・ 道路に置く場合は交差点を避ける
- ・ 避難する人の通行や緊急車両の妨げにならない場所に駐車する
- ・ エンジンキーは、付けたままにしてドアロックはせず、車内に貴重品を残さない

